



パープルハートプロジェクト

福井県越前市のおいしいもの、たのしいものを、たくさんの方に知ってもらいたい♪
ハートを込めたおもてなしをお贈りするチームです。



パープルハートのキービジュアル (テキストデザイン by aiMIKI)

自然豊かな越前市に流れる
清らかな川の水、和紙の原料や
ムラサキシキブ、菊の花など、
住民の暮らしを豊かに彩る植物たち、
コウノトリやハッチョウトンボなどの
希少な生き物たちを、これからも
人々が繋がり支え合い、
この美しい風景が続いていくことに
願いを込めて、
テキストデザインにしました。



パープルハートのインスタページはこちらから



PURPLE HEART ANIMATION

プロジェクトメンバー9人が出演のアニメーションを製作。
越前市民から「おそんじゃさん」の相性で親しまれ
ている総社大神宮の参道を舞台に、越前市内
で活躍する女性たちが作った商品を紹介。
アニメーション動画はこちらから



パープルハートプロジェクト事務局 (担当: 山口) mail@furnitureholic.com

主催 紫式部プロジェクト推進協議会 (越前市ブランド戦略課)

1 片山酒造

KATAYAMA SAKE BREWERY



明和年間（1764～1771）創業。越前市で唯一の日本酒蔵。純米吟醸と黒米で造る紫の不思議な酒、月暈～パープルハート～。黒米の天然色素、アントシアニンというポリフェノールの一種を使用し紫色に。酒米も黒米も栽培中は農薬、化学肥料無使用で地球に優しく、黒米の抗酸化作用で身体に優しい酒に。グラスに注げば食前酒にも食後酒にもピッタリ。何故かスモーキーなコク深さ、ふくよかな味わいと色目を楽しんで♪



A 「月暈 パープルハート」 片山酒造

5 五十嵐製紙

IGARASHI PAPER



大正8年創業の小さな越前和紙工房。生活に寄り添った和紙を漉く事を目標に、小さなものから大きなサイズや、平面のみならず立体的な和紙まで多種多様な和紙を漉いている。そんな和紙工房が作る、持っているだけで可愛い文具シリーズ。和紙の手触りを感じながら日常的に使用してほしい。本のページをめくる時や、大切な人への一言、お久しぶりの人へのご挨拶等“想い”を和紙に込めてみませんか？



A 「パープルハートポストカード／一筆箋／葉／ぼち袋 大小」 IGARASHI PAPER

9 萬谷

MANTANI



萬谷は昭和25年に旅館として創業。現在四代目が歴史と伝統と越前での地産地消を大切にすると共に、懐石ガストロノミーという考えを新たに取り入れ最新で最上級のお料理とおもてなしを追求している。全てはお客様の感動と幸せのために。萬谷でのパープルハートはランチョンマット。福井越前をフィーチャーしたデザインで、より一層萬谷のお料理を引き立ててくれる。紫式部 X 越前 X 萬谷のマリアージュを楽しんで。



A 「echizen紫式部懐石箱」 / B 「echizen紫式部甘味箱」 萬谷

10 アルバーナ

ALBANA



酒類は200種類以上、季節のフルーツを使ったカクテル、食事も軽食からガッツリ系、パーティー飯まで充実の人気のBar Albana（アルバーナ）。パープルハートプロジェクトでは、越前市唯一の酒蔵の片山酒造の「関西」と越前市産の季節のフルーツやエディブルフラワーを使い、紫式部をイメージした紫色のカクテルをご用意。季節が変わるごとに毎回違ったカクテルに出会える♪



A 「パープルハートカクテル」 ALBANA

11 ホリタライフキャンバス

HORITA LIFE CANVAS



創業73年を迎える文具店のコンセプトストア HORITA LIFE CANVAS（ホリタライフキャンバス）は「自分をあらわす、出会い。」を軸にセレクトした商品や空間づくり、イベントなどにも力を入れている。菊やコウソウなど越前市の商品となる様々な植物・市の鳥コウノトリも描かれたパープルハートプロジェクトのイラスト（aiMIKI作）が手ぬぐいに。店頭ではこのプロジェクトの商品の数々を手にとって選んで頂ける。



A 「パープルハートでぬぐい」 aiMIKI

2 MAMI CAFE たちばな屋

MAMI CAFE TACHIBANAYA



1975年に創業。当時から変わらない昔ながらの直火式焙煎機を使ったスペシャルティコーヒー豆専門店。女性焙煎士が作り出すパープルハートブレンドは紫式部のような女性らしい優しい味わいを意識して作り上げた。だれでも簡単に美味しいコーヒーが淹れられるよう浸して抽出するディップスタイルのコーヒーでフィルターには環境に配慮した生分解性フィルターを使用。口当たりが柔らかく、ほんのり甘みを感じられる至福の一杯をどうぞ。



A 「パープルハートブレンドディップスタイルコーヒー7パック入り」 たちばな屋

6 山伝製紙

YAMADEN PAPER



明治初年度創業、機械抄き和紙メーカーの山伝製紙(株)が、いろいろな人に和紙を広めたいと取り組んだクラフトビールづくり。紫式部の花酵母を使用した（きつと）世界初のビール。シソ科の紫式部をほんのり感じるシソの香り。ラベルには、もちろん和紙を使用。「技術」「職人技」などを意味するクラフト(craft)の通り、味や香りを追求したビール職人と、和紙ラベルを追求した機械抄き和紙職人のこだわりを堪能ください。



A 「和紙職人が作った紫式部花酵母のCRAFT BEER」 YAMADEN PAPER

3 エスポワール

ESPOIR



「おいしい幸せをあなたに」がモットーのこだわりスイーツのパティスリー。エスポワールの菓子のおいしさを支えているのは職人の手仕事から生まれる生地、奥行きのある絶妙な味、香り、食感が感じられるスイーツは、1つでも深い満足感がある。今回は越前市の菊の花をあしらったパープルハートプロジェクトのマカロンセットと、越前市唯一の酒蔵【片山酒造】の2種の酒をジューレ仕立てにしたボンボンショコラのセットをご用意。



A 「パープルハートマカロン」「片山酒造3種の日本酒ショコラボンボン」 ESPOIR

7 841（苗のはっとり）

NAE NO HATTORI



CHARLIE MARGUERITE



丈夫で育てやすい野菜苗・花苗を販売。今回は紫式部をイメージした華やかな2つの商品を開発。1つ目はバタフライピーに食用菊で彩り豊かに見た目も可愛いハーブティー！2つ目は紫と黄色の食用菊を使い、あんこでお花絞りの講師と販売をしているCHARLIE MARGUERITEとコラボレーションして見た目も楽しめる豪華な『越前華おはぎ』。



A 「青いハーブと菊のお茶」 841 / B 「越前華おはぎ」 CHARLIE MARGUERITE

4 山岸和紙店

YAMAGISHI WASHI



1949年創業。「温故」創「新」をテーマに、技術や伝統はそのままに、時代と生活に寄り添った越前和紙の魅力と沢山の笑顔をお届けしております。今回のプロジェクトでは、デザイナーaiMIKIとコラボした懐紙や折り紙が登場。イラストに散りばめられた和紙の素材や越前市ゆかりのかわいいイラスト、また越前和紙の質感や使いごちをお楽しみください。



A 「パープルハート折り紙／懐紙」 sogoro

8 COLO

cafe and food

COLO CAFE



COLOは、チベット語で「輪」。皆様の想いや、つながりがまる～くあってほしいなと、身体に優しい素材を使ったデザートでゆったりとしたお時間を過ごせる多国籍古民家カフェ。PURPLE HEART PROJECTの米粉のグルテンフリークッキーは、越前市産の米粉と、米油、甜菜糖など厳選した素材を使い、越前市で大切に育てられたエディブルフラワーを飾った身体にも心にも優しい滋養菓子。ほぐれるお時間をぜひ。



A 「グルテンフリークッキー」 / B 「パープルハートバタフライゼリー」 COLO



12 ファニチャーホリック

FURNITUREHOLIC



ファニチャーホリックでは国指定の伝統的工芸品「越前箆簀」やオーダー家具を製造している。PURPLE HEART PROJECTではメンバーのスイーツをアフタヌーンティーセットにできる飲食店向けの什器を製作。伝統工芸を楽める工夫を凝らしている。また天然素材にこだわった弊社のキャンドルブランド「Alkanna」は、人や地球に優しいものづくりを心がけており、メンバーの商品に関わる植物等を素材として使用している。



A 「100% SOY WAX CANDLE」 Alkanna / B 「灯台型BOX」 FURNITUREHOLIC

13 宗倉陶業

SOUKURA POTTERY

平安時代から続き六古窯の1つに入る越前焼。先代の技術、想いを受け継ぎ、伝統の意味を模索しながら作陶続けている日々。紫式部をイメージし紫色を主に考え、自身の窯でしか出せない色を心掛け器作りに入った。ハートをイメージした抹茶碗や片口、小鉢などや、月の満ち欠けを表現した豆皿など、今までにない越前焼の色と器の景色を楽しんで欲しい。

宗山窯 TEL 0778-23-1922
MAIL oomushi—echizen@r.vodafone.ne.jp



A 「月の満ち欠け豆皿」 / B 「月抹茶碗や片口、小鉢」 宗倉陶業

14 越前セラミカ

ECHIZEN-SERAMIKA



福井の厳しい風土から暮らしを守ってきた「越前瓦」。地域の豊かな資源を活かし、伝統的な製法で造られるこの瓦は、優れた耐久性と特有の質感が特長。越前の土と高温の炎から生まれる瓦は、古の雰囲気醸し出し、空間に独自の趣を添える。越前瓦プレートは紫に彩られた料理や器の引き立て役として調和し、「越前瓦」の新たな可能性を探る。



A 「越前瓦プレート」 ECHIZEN-SERAMIKA